

柱 1-1-(4)-ア 環境に配慮した率先的な取組

元年度目標の達成状況

目標	元年度実績	元年度目標の評価
大阪市事務事業の低炭素化 CO2排出量削減（いずれも25年度比） 28年度 3.2%減（4.0万トン-CO2に相当） 29年度 28年度のCO2排出量削減8.1%（10.3万トン-CO2に相当）以上 30年度 民営化に伴い交通局分を除外して算定した29年度のCO2排出量削減10.3%（10.3万トン-CO2に相当）を超える削減。 元年度 16.8%減（16.8万トン-CO2に相当）	17.4%減 （17.4万トン-CO2に相当）	達成

元年度取組の実施状況

元年度の取組内容	元年度の主な取組実績
①公共施設における低炭素化の推進 ・LED照明の導入拡大 市有39施設の工事完了。 ・ESCO事業の実施拡大 中央卸売市場東部市場のサービス開始。 おとしよりすこやかセンター西部館の事業者と契約。 中央図書館外16施設の事業者を募集する。 ・太陽光発電の導入拡大 市内小中学校60校の工事完了。 新たに市内小中学校140校を対象に、太陽光パネルの設置の可能性を検討し、実施可能な施設について、工事に着手。	・LED照明の導入拡大 市有39施設の工事を完了した。（7月） ・ESCO事業の実施拡大 中央卸売市場東部市場のサービスを開始した。（4月） おとしよりすこやかセンター西部館の工事を完了した。（3月） 中央図書館外16施設的最優秀提案者を決定した。（12月） ・太陽光発電の導入拡大 市内小中学校60校の工事を完了した。（8月） 新たに市内小中学校140校を対象に、太陽光パネルの設置の可能性を検討し、実施可能な施設について、工事に着手した。うち62校については工事を完了し、31校について設置工事に着手した。（3月）
②ごみの減量・リサイクル推進 ・「一般廃棄物処理基本計画」の中間見直しを実施。	・廃棄物減量等推進審議会を開催し、ごみ減量施策の方向性について審議のうえ、「一般廃棄物処理基本計画」の改定を行った。（3月）
③車両対策の推進 ・「大阪市エコカー普及促進に関する取組方針」に基づき公用車へのエコカー導入を促進。	・「大阪市エコカー普及促進に関する取組方針」に基づき公用車へのエコカー導入を促進し、166台導入した。（通年）
④職員による環境マネジメントの強化 ・「大阪市市内環境管理計画」に基づく実績・取組状況調査、研修、内部監査、外部評価等の取組を実施。	・「大阪市市内環境管理計画」に基づく実績・取組状況調査、研修、内部監査、外部評価等の取組を実施した。（通年）

⑤未利用エネルギーの有効活用の推進

・地下水の熱利用

アミティ舞洲において、空調設備に帯水層蓄熱利用システムを導入、技術開発・実証事業を実施。

・地下水の熱利用

アミティ舞洲において、空調設備への帯水層蓄熱利用システムの導入に向け、実証設備を構築した。(3月)

取組期間の成果

・28年度に「大阪市地球温暖化対策推進本部」を設置し、「大阪市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」に沿って省エネルギー・創エネルギーの取組を全庁的に推進した結果、大阪市事務事業におけるCO₂排出量の削減については、元年度には実績値が17.4%減となり、一定の成果を上げることができた。

今後の方向性

・大阪市事務事業におけるCO₂排出量の削減について、31年3月に計画目標の上積み改定(2年度までにCO₂排出量削減25年度比8.4%→20.1%)を行い、これを達成すべく公共施設における低炭素化の推進、ごみの減量・リサイクル推進、車両対策の推進、職員による環境マネジメントの強化、未利用エネルギーの有効活用の推進に取り組んでいく。